

令和5年度 第1回大東中学校運営支援協議会

令和5年5月20日(土)
一関市立大東中学校 校長室

【 次 第 】

1 開 会

2 校長挨拶

※ コミュニティ・スクールについて

3 報告・協議

(1) 令和5年度大東中学校運営支援協議会委員について

(2) 令和5年度学校経営方針と「大東中まなびフェスト」について

(3) 学校・生徒の状況について

(4) その他

① 年間行事予定について

② その他

4 委員の皆様から

(1) 地域での生徒の様子について

(2) その他

5 連 絡

6 閉 会

【報告・協議】

(1) 令和5年度大東中学校運営支援協議会委員について

伊東 俊一 様 千葉 満 様 菊池 文悦 様 小野寺 京子 様
 小野寺 俊次 様 菊池 聡 様 星 律 様 伊藤 玉男 様
 柏原 厚子 様 佐藤 恵子 様 伊東 光浩 様
 松田 恵美子 様 小山 充 様 校長 副校長 の15名

よろしくお願いたします。「委嘱状」を交付いたします。

会長 ○

副会長 ○

(2) 令和5年度学校経営方針と「大東中まなびフェスト」について

※ 別添資料参照

(3) 学校・生徒の状況について

① 令和5年度生徒在籍数

年次	1年	2年	3年	計
男子	33(知2)	33	53(知3)	119(知5)
女子	40(知3)	41	50(知1)	131(知4)
計	73(知5)	74	103(知4)	250(知9)

普通学級 2 3 3

支援学級 1 1

② 令和5年度教職員

※ 学校要覧 参照

③ 教育環境関係

◎ 全体としては、恵まれた施設・設備の中で教育活動が展開されている。

ア 学校統合に伴い教室が増設された。9月に工事終了予定。学校要覧参照。

イ GIGAスクール構想

令和3年8月、教職員と生徒にタブレット端末が配られ、活用している。

ウ 教室内外の学習環境や掲示物の充実、草刈り、花壇の整備等を心掛け、環境美化に継続して取り組んでいく。校地や法面が広くて大変である草刈りは、6月と9月にPTAの活動として協力いただく。また、校地内の樹木に関しては、中庭分は摺沢寿会の方々に、他は学校支援地域本部事業での剪定をお願いする。

エ 家庭科の被服の授業や水泳授業において、学校支援地域本部事業での協力をお願いする。

④ 生徒の学校生活の状況

◎ 昨年度町内3中学校全体の5%が学校不適應であったが、現在は頑張って登校している生徒が多い。大きな問題行動はないが、多少のトラブルはあり、その都度改善させている。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったが、5月10・11日と3年A組の生徒が数名、インフルエンザとなり、12日(金)から14日(日)まで学級閉鎖とした。

学校行事やPTA活動は、感染防止に努めながら日常生活は平常通り行っている。

ア やろうと呼びかけると、一生懸命取り組む生徒たちである。統合前3校の生徒会執行部が全員、前期は執行部として活動している。

イ 生徒総会、体育祭練習、部活動を通して、3年生に自信をつけさせ、リーダーとしての自覚を持たせるとともに、2年生には中堅学年として3年生を支え1年生をリードする姿勢を、1年生には上級生に学ぼうという姿勢を育てていく。

ウ 部活動は強制加入ではないため、無所属が17名(シニアの野球4名、東山のサッカー2名、水泳1名)いる。

エ 現在まで、重大ないじめや暴力、非行などの問題行動はない。引き続き授業や日常の活動、行事等の充実を図り、達成感や充実感を持たせて、未然防止に努めていきたい。

(4) その他

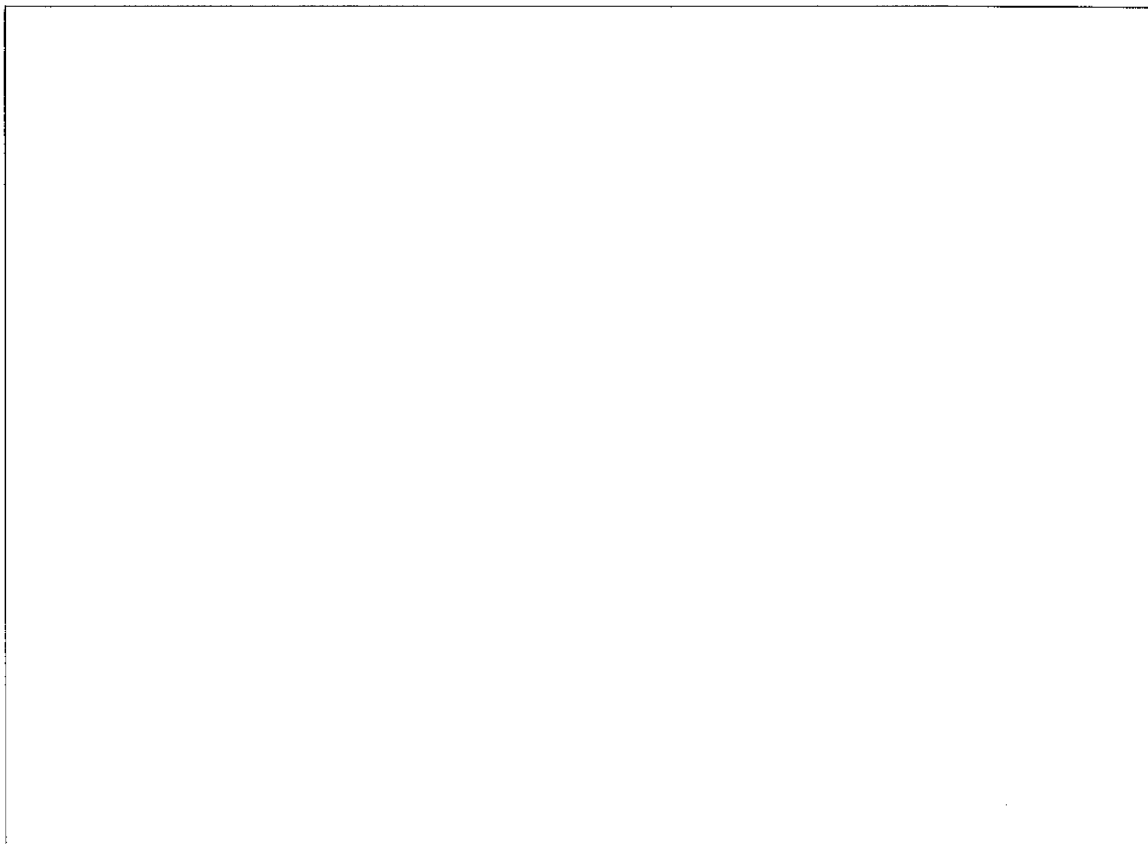
① 年間行事予定について

※ 別紙資料参照

② その他

【運営支援協議会委員の皆様から】

(1) 地域での生徒の様子について



(2) その他



【連絡】

- 次回の運営支援協議会は、令和5年10月28日(土)に予定している文化祭の昼休みに開催したいと思います。

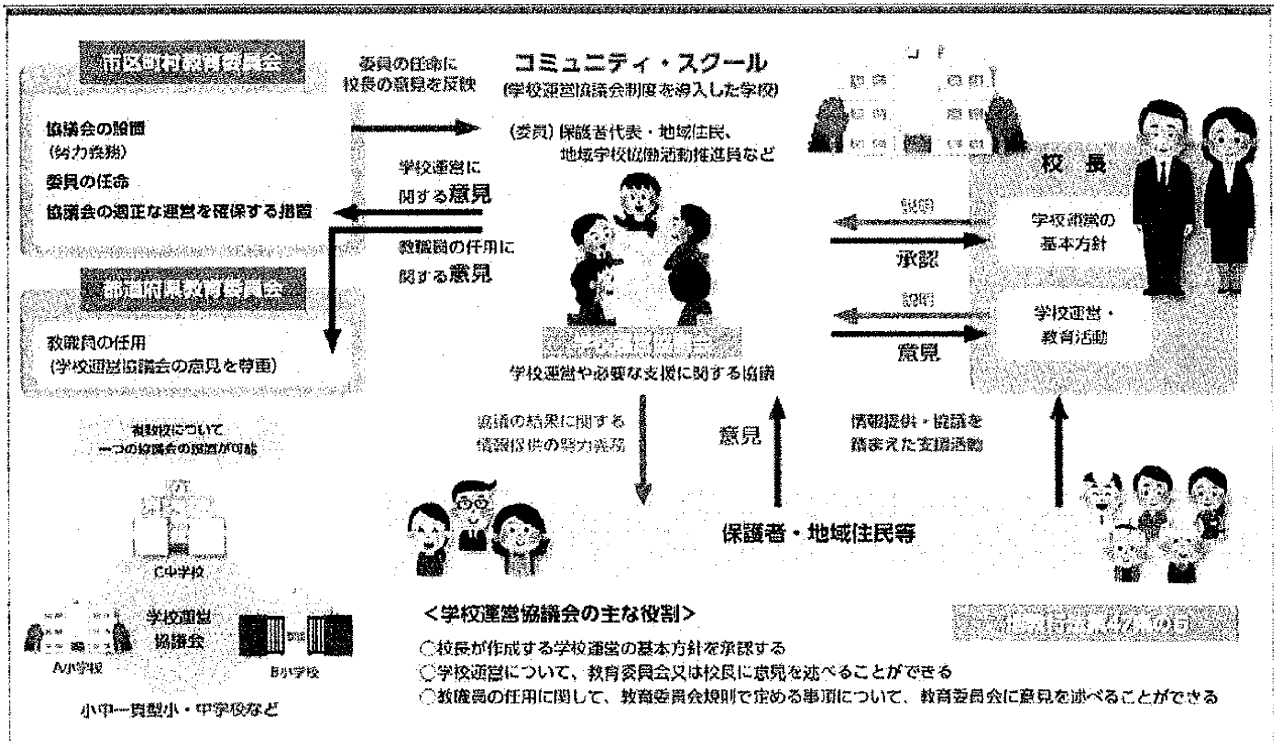
「コミュニティ・スクール」 地域とともにある学校づくりの実現に向けて



一関市立大東中学校

1

コミュニティ・スクールとは？



コミュニティ・スクールとは、
学校運営協議会を設置している学校のこと

コミュニティ・スクールとは？

Society5.0・グローバル化 (生産年齢)人口減少の進行 共生社会
児童虐待の増加 貧困問題の深刻化 地域社会のつながりや支え合いの希薄化
子供たちの規範意識や社会性等の課題
複雑化・多様化した学校の課題に伴う教職員の勤務負担

子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化

教育
改革



学校と地域の連携・協働



地方
創生

子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、
社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。

コミュニティ・スクールとは？

社会総掛かりでの教育を実現するために

「開かれた学校」

転換

- ・地域でどのような子供たちを育てるのか
- ・何を実現していくのか

目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子供たちを育む

「地域とともにある学校」

コミュニティ・スクールは「地域とともにある学校づくり」に有効なツールです



地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正 (平成29年3月)
→協議会の設置について、教育委員会に対して努力義務を課す

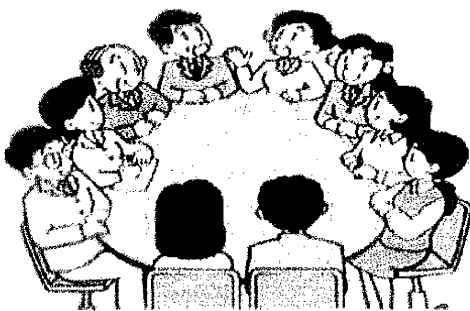
学校運営協議会

「法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営と そのために必要な支援について協議する合議制の機関」

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律
第47条の5（学校運営協議会制度）

「学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを進める学校の体制」

学校運営協議会

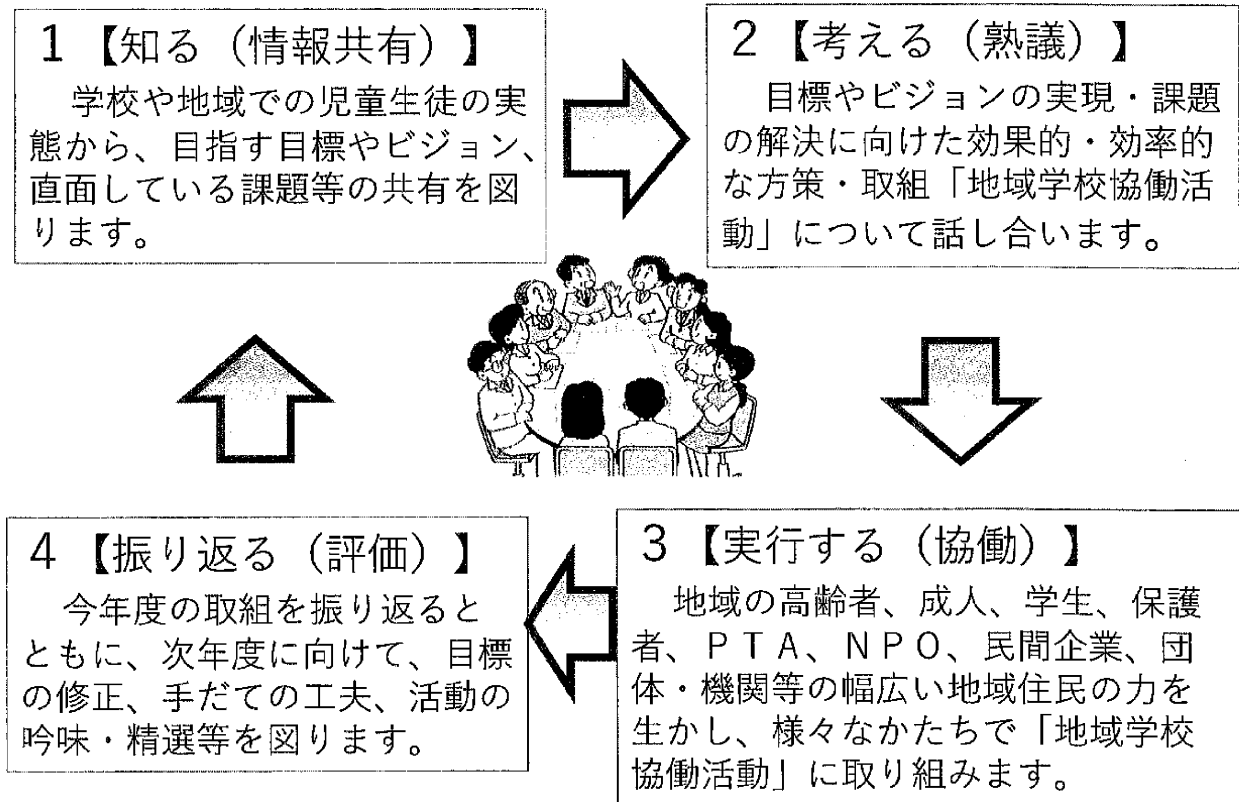


学校運営協議会委員の具体的な任免の手続きや任期は、教育委員会規則で定め、**教育委員会**が任命します。委員は、校長が作成する基本方針の承認等の一定の権限を持つことから、**特別職非常勤の地方公務員**として任命されます。

学校運営協議会の主な3つの機能

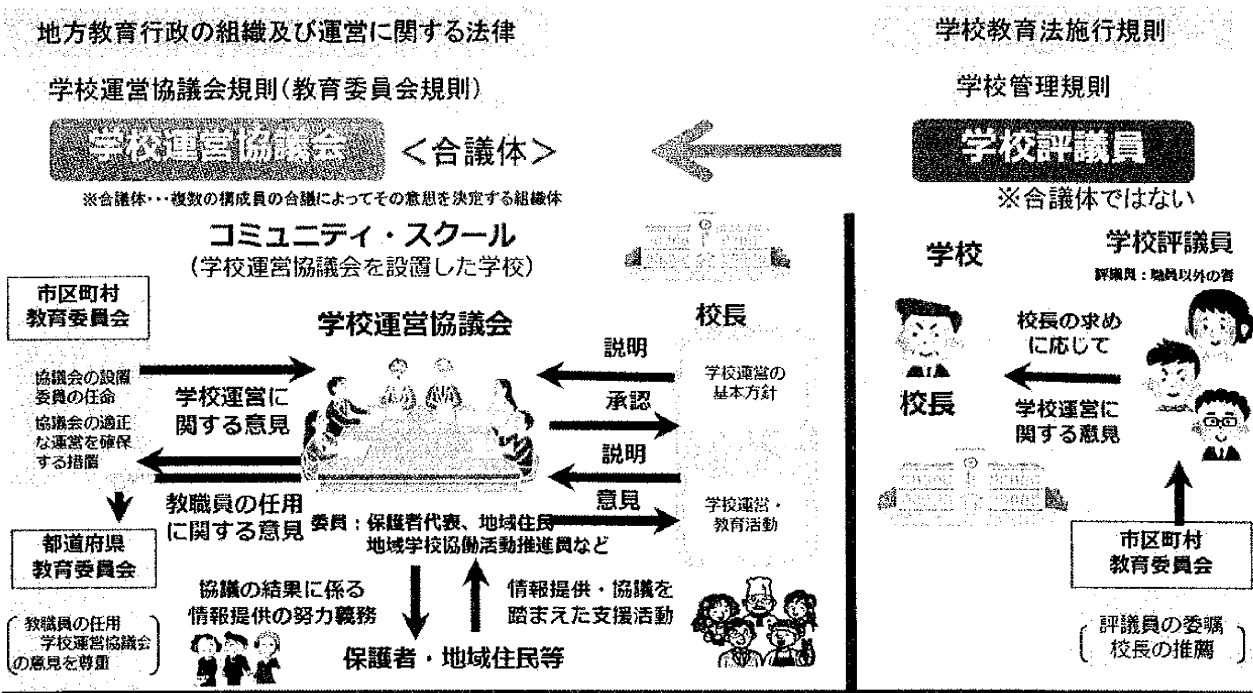
- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

具体的にどのように機能するのか？



7

学校運営協議会と学校評議員制度の違い



保護者や地域の方々が一定の権限をもって学校運営に参画することにより、「目標やビジョン」を共有して、社会総がかりで子供たちの健全育成や学校運営の改善に取り組むことを目的

校長が、必要に応じて学校運営に関して、保護者や地域の方々の意見を聞くことを目的

令和5(2023)年度 学校経営方針 一関市立大東中学校

I 学校経営の基盤

本校の学校経営は、以下の諸法令等の理念を受け、学校・生徒・家庭・地域相互の信頼関係を大事にし、学校教育目標の具現を目指して推進する。

- 1 憲法や教育基本法等の教育関係法規
- 2 前次学習指導要領による「生きる力」の育成、今次学習指導要領(平成29年3月告示、令和3年度全面実施)で示された「主体的・対話的で深い学び」の展開
- 3 一関市教育委員会と岩手県教育委員会が目指す教育の目的や基本目標
《一関市教育振興の基本目標》(2016～2025)
「学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」
《岩手の義務教育の目的》(2019～2028)
「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた、社会を創造する能力を育てる「人間形成」

II 学校教育目標および目指す生徒像・教職員像・学校像

1 学校教育目標と目指す生徒像

学 校 教 育 目 標 【 校 訓 : 切 磋 琢 磨 自 他 共 栄 】

～ふるさと大東を愛し、主体的に考え、心豊かに、心身を鍛える生徒の育成～

- 知** ○ 主体的に学び、広く深く考え、知性を高める生徒
徳 ○ 思いやりをもち、互いに認め合う、しなやかな生徒
体 ○ 自ら粘り強く鍛え、健康でたくましい生徒

2 目指す教職員像

- 主体的に自己研鑽し、自らの資質・能力を高める教職員
- 教育公務員としての自覚と使命感をもち、生徒・保護者・地域に愛される教職員
- 協力・協働を実践し、学校組織の一員として職務に精励する教職員

3 目指す学校像

- 基礎基本を大切にし、学習内容を理解定着させる学校
- 生きる力を育む教育活動を創意工夫する学校
- より良い人間関係が築ける生徒を育成する学校
- 家庭や地域と連携して、地域の宝である生徒を育てる学校

III 学校経営の方針と重点

1 経営の方針

- (1) 「生きる力」を培うために、知・徳・体をバランスよく育み、郷土を愛し、その復興・発展を担うひとづくりを目指す。
- (2) コミュニティ・スクールを推進し、学校と地域が一体となって、目標「まなびフェスト」をもって学校づくりを進め、より良い教育活動を目指す。
- (3) あらゆる機会と場を捉えて生徒一人ひとりの特性の把握に努め、全職員で情報を十分に共有し合って共通理解を図り、組織的に教育活動を推進する。
- (4) 生徒指導の三機能(※自己決定、自己存在感、共感的な人間関係)を活かして望ましい人間関係づくりを図るとともに、集団の一員としての自覚と自己肯定感・自己有用感並びに成就感を育むために、節目となる行事を中核に据えた6期による教育活動を展開する。

6期展開の年間テーマ：「お互いを知り、良さを認め、より高い自分に挑戦し続ける！」

ア 第1期（4月）：「新しい出発」

統合年度の新たなスタートのこの時期において、諸活動の基盤をできる限り仕上げ、3校の調整を図りながら、学校生活全般を順調にスタートさせるよう努める。

新入生には、中学生としての生活と学習のリズムを身に付けさせ、2・3年生にはあらゆる活動や言動に責任を持たせ、後輩の手本となるよう意識を高めさせる。

本校の学校経営の柱である学校行事の中の「入学式」をはじめ、新入生歓迎のための生徒会行事等で、生徒が成就感と感動を持てるように、事前・事中・事後の指導に集中的に取り組ませ、その後の学校生活の展開に資するよう努める。

イ 第2期（5月～6月中旬）：「目標への挑戦」

この時期には「体育祭」が予定されており、行事を通して生徒が大きく成長する絶好の機会である。生徒に後輩を指導する力と、先輩に学ぶ力を育てたい。

また、「地方中総体」に向けて部活動の取組を強化し、体力と技術を向上させ、たくましい精神力やマナーを育て、連帯感を育成するとともに、学習との両立を意識させる。

部活動は、協力し合い友情を深める等、好ましい人間関係を形成するものであり、大事な生徒指導の場でもある。学級担任と部顧問の連携を密にし、部活動と学級経営が生徒指導の両輪となるよう努める。

ウ 第3期（6月下旬～8月中旬）：「自律の生活」

第1・2期の集団づくりの中で生徒一人一人が培った力を高く評価した上で、個々の自律性のさらなる伸長を図る。

この時期は学習や体力づくりを自主的に行う絶好の機会であり、その中で自律心を育み「非行の防止」にも努める。

エ 第4期（8月下旬～10月）：「連帯の喜び」

第3期での個々の伸張を再確認するとともに、互いのよさを認め合う学級づくりを通しながら、真剣に学習する集団、互いに学び合う集団の実現を図る。

また、「修学旅行」や「地方新人大会」、「文化祭」があり、新人チームによる部のまとまりや、「修学旅行」と「文化祭」に向けた学級・学年の団結力を養う時期である。行事に取り組む仲間の長所を見出し、短所を補いながら、生徒の意欲を最大限に高める。生徒の「やる気」を引き出す絶好の機会と捉えて指導する。

オ 第5期（11月～2月）：「自己実現への飛躍」

この時期は部活動や学校行事で育んだ「やる気」を、学力向上の意欲につなげる。生徒の学習向上運動を軸にして学習意欲を引き上げ、「朝読書・授業・家庭学習」の一連のサイクルによる学力向上の取組に、一層力を入れる。

カ 第6期（3月）：「誇りある大東中」

1年の歩みを振り返り、成果と課題を明らかにして、生徒に自信と誇りをもたせ、次年度に向けた改善の意欲につなげる。

2 経営の重点

【統合初年度：統合して良かったと誰もが思えるような、安心・安全な学校づくり】

- (1) 適切かつ工夫ある教育課程の編成と着実な実施、授業改善と学び方の指導による学力向上
- (2) 進路指導（キャリア教育）と教育相談の充実、生徒会活動の活発化による開発的生徒指導
- (3) 教職員のライフステージに即して職能を磨き、実践的指導力を向上させるための研修・修養の充実
- (4) 啓発的体験活動やボランティア教育、防災教育を再構築した「いわての復興教育」の推進
- (5) 施設設備の更新や修繕、環境美化活動、働き方改革による教育環境と労働環境整備の推進
- (6) 「まなびフェスト」の取組、小・中連携やPTA活動による学校・家庭・地域の連携強化
- (7) コロナ禍にあっては、生徒の健康と安全の確保に努めつつ工夫を凝らした教育活動を展開

IV 重点教育課題と改善の方策

1 統合初年度、互いを尊重して互いのよさを生かす【推進：全教職員】

旧3中学校のよさを生かし、友達を大切にしながら、「自分達が協力して新しい学校を創るんだ」という意識を大切にして学校生活を送るよう努める。

2 学力向上対策（授業改善）【推進：教務部、研究部】

(1) 新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導

ア 各教科・領域の指導にあたり、「学びに向かう力・人間性等の涵養」、「生きて働く知識・技能の習得」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」を重視する。

イ 「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた教科指導を展開する。

ウ 「読む活動」を重視するとともに、「記録・説明・討議」等の言語活動を積極的に取り入れ、言語に関する能力や表現能力の育成を図る。

エ 中学校3年間を見通した適切な教育課程の編成と実施に努める。

(2) 主体的に学ぶ力の向上を目指す教科指導の充実

ア 「いわての授業づくり3つの視点」を基本に据え、確かな学力の育成を目指した授業を実践する。 → 学習の見通し、学習課題を解決するための学習活動、学習の振り返り

イ 教職員相互の連携強化を図り、組織的に研究を推進する。

ウ 教科指導や学習委員会主体の「校内検定」、モジュール学習の取組の中で、基礎的・基本的な知識や技能の反復練習を意図的・計画的に実施し、確実な定着を図る。

エ 生徒の学力実態の把握・分析、評価を適時適切に行い、情報を共有し合って個に応じたきめ細かな指導を展開する。

オ 問題解決的な学習活動や体験的な学習活動を積極的に取り入れる。

カ 教科指導と関連づけた家庭学習やノーメディアデーの取組などを通して学習習慣の定着を図る。

(3) ICTを活用した授業の実践

ア 生徒の学ぶ意欲を醸成し、主体的に学習に取り組む態度を育む。

イ 積極的な研修受講と実践交流を推進し、効果的な学習指導の在り方を探る。

3 生徒指導対策（学校不適応への対応と未然防止、情報機器の適切な利用）

【推進：指導部】

(1) よりよい人間関係を育てる生徒指導の充実

ア 多面的・総合的な生徒理解を心がけ、教職員と生徒の人的なふれ合いを大切にして、信頼関係構築を促進する。

イ 学年学級経営、部活動経営、生徒会諸活動等に創意工夫を凝らし、生徒に自己肯定感や自己有用感をもたせ、充実した学校生活を送らせる。

ウ 日常の観察やアンケート等をもとに、「いじめ」や「学校不適応」等の未然防止、早期発見、早期対応を心がける。

エ 不登校・不適応生徒等に対しては、教育相談や医療等の関係機関とも連携し、組織的な対応を行う。

(2) 情報機器の適切な利用の指導強化

ア 情報教育をより一層充実させ、情報モラルの指導を徹底し、ICT活用とも連動させて情報手段の適切な活用能力を育成する。

イ 携帯電話やスマートフォン、インターネットトラブルの防止等に関わる指導、保護者への啓発の機会を積極的に設ける。

4 小・中連携、地域との連携・協働【推進：総務部、指導部】

(1) 「まなびフェスト」の取組の強化

ア 数値目標を設定した「まなびフェスト」を生かし、家庭・地域との連携・協働による目標達成型の学校経営を推進する。

イ 目指す生徒像を共有し、学校(教職員)・家庭(保護者)・地域がそれぞれの役割を分担して生徒の育成にあたる。

(2) 小中連携の強化

ア 小・中の指導の段差を和らげることで、「中1ギャップ」の解消に努める。

イ 9年間を見通した教育活動を展開し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図る。

(3) 地域との連携・協働の強化

ア 地域の事業所や人材の協力を得て実施される教育活動を継続、発展・進化させ、地域との連携・協働を強化する。

イ 地域を題材にした教育活動を「大東学」として位置付け、郷土理解や郷土愛、地域の一員としての自覚を育む。

5 キャリア教育、防災・復興教育【推進：教務部】

(1) 自らの進路を主体的に切り拓いていく力と勤労観・職業観を育むキャリア教育の推進
〔大東地域の文化、社会、人材等を学ぶ「大東学」の充実によるキャリア教育の系統化〕
ア 保護者や地域の方々と連携し、キャリア教育の一層の推進を図る。

イ 自己理解→自己啓発（職業調べ、上級学校調べ、地域の人々の生き方学習等）→啓発的経験（職場見学、社会体験、上級学校体験入学等）へと発展して学ぶ場を設定する。

ウ キャリア発達の視点から3年間を見通した系統的な全体計画、年間指導計画の整備を継続する。 <1年:「地産地消の会」との交流 2年:社会体験学習 3年:情報発信>
※ コロナ禍の中にあつては、各学年の目標を踏まえながら、可能な代替活動を行う。

エ 定期・随時の教育相談や三者面談を契機にして、生徒のキャリア発達を支援する。

(2) 防災・復興教育の推進

ア 防災・復興における自分自身の役割や自己の在り方を考え、将来への展望をもたせる。

【いきる】

イ 大震災や洪水等の体験を踏まえ、災害の知識や災害から身を守る方法を学ばせ、実践力を養う。

【そなえる・防災教育の推進】

ウ 地域との関わり方や郷土の将来像等様々な要素を組み入れた防災・復興教育の実践化を図る。

【かかわる・ボランティア活動の推進】

エ 教育活動全体を通して命を尊ぶ道徳的实践力、規範意識などを高める指導の充実を図り、「いわての復興教育」を推進する。

【いわての復興教育との関連とその推進】

6 道徳教育【推進：教務部】

・ 豊かな人間性の育成を図る道徳教育の充実

ア 道徳的諸価値に基づいて、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

イ 朝読書や図書館の利用を通して読書活動を推進し、豊かな感性や情操を育てる。

ウ 様々な啓発的体験学習を実施し、社会の構成員としての自覚と他者を尊重し思いやる心、公共のために尽くす心を育む。

7 特別支援教育【推進：教務部】

・ 個に応じた特別支援教育の推進

ア 特別支援コーディネーターのイニシアチブの下、学年や学級担任が連携して組織的に特別支援教育を推進する。

イ 一人一人の実態に応じた個別の指導計画と個別の教育支援計画を作成し、自立に向けた基礎や人間関係を築くスキル等について計画的に指導する。

ウ 通常学級で特別の支援を要する生徒については、通級指導やTT指導、ユニバーサルデザインに配慮した指導等の工夫を図る。

エ 校内就学指導委員会（特別支援校内委員会）を機能させ、特別な配慮を必要とする生徒について、適正な支援・指導を推進する。

オ 研修等を通じて学習障がいや情緒障がい等に対する理解を深めるとともに、障がいを持つ生徒個々の特性等を把握し、適切な支援に努める。

令和5年度

年間行事計画

日	4月	時給 数食	5月	時給 数食	6月	時給 数食	7月	時給 数食	8月	時給 数食	9月	時給 数食	
1		2	月	1 0 〇	木	衣替え 眼科検診 中体連理事会①	1 5 〇	日	1	5	金	食に関する指導(1年)	1 6 〇
2		3	火	一斉研	1 3	金	管内初任研	1 6 〇	日	2	水		2
3		5	水		4	日		2	月	3	木		3
4		5	木		4	月	全国学調(英)	3	火	4	金	文化祭実行委員会① 選挙管理委員会② 心臓検診二次	1 6 〇
5		5	金		4	月	プール清掃(~9)	1 6 〇	水	5	土		1 6 〇
6	木	1 3		2	火	歯科検診(Dr.石岡)①	1 6 〇	木	6	日	水	中体連理事会④ 修学旅行	1 6 弁
7	金	1 6		3	水	中体連理事会②	1 6 〇	金	7	月	木	修学旅行	1 5 弁
8	土	1 3	月	全国学調(英・費)	1 6 〇	木	耳鼻科検診	1 5 〇	土	8	金	修学旅行	1 6 弁
9	日	3	火	特文学校設置協議	1 6 〇	金	実習生お別れ会 食に関する指導(2年)	1 6 〇	日	9	土		2
10	月	5	水		1 8 〇	日		2	月	10	日		3
11	火	1 8 〇	木	市初任研 分掌部会	1 5 〇	日		3	火	11	月	分掌部会	1 6 〇
12	水	1 6 〇	金		1 6 〇	月	分掌部会 歯科検診(Dr.佐藤)①	1 6 〇	水	12	火	管内初任研 運営委員会	1 6 〇
13	木	1 5 〇		2	火	運営委員会 歯科検診(Dr.石岡)②	1 6 〇	木	13	水		1 6 〇	
14	金	1 6 〇		3	水	歯科検診(Dr.佐藤)②	1 6 〇	金	14	木	土	1 5 〇	
15		2	月	教育実習 (~9月9日) 運動着替え返還	1 5 〇	木	3年市議会見学 社行式 5年アルバム写真	1 5 〇	日	15	金	地区新人大会会場 準備	1 5 〇
16		3	火	中~大生協議会協議会 運営委員会	1 5 〇	金	地区中総体会場準備	1 5 〇	日	16	土	地区新人大会 ピアニ調律①	1
17	月	1 6 〇	水	体育祭準備 がん検診(花泉)	1 5 〇	土	地区中総体	1	月	17	日		1
18	火	1 6 〇	木	体育祭総練習	1 5 弁	日		1	火	18	金	給食式・実力テスト 社行式	1 6 〇
19	水	1 6 〇	金		1 5 〇	月	区体育祭当日	5	水	19	土		4
20	木	1 5 〇	土	体育祭(午前中)	1 5	日	区体育祭当日	5	木	20	日		5
21	金	1 6 〇		3	水	報告会・社行式	1 6 〇	金	21	月	木	報告会 職員会議(10月)	1 5 〇
22	土	1 5 弁	月		5	木	1年給食七夕・勤労 職員会議(7・8月)	1 5 〇	日	22	火	地区駅伝準備	1 6 〇
23		3	火		1 6 〇	金		1 6 〇	日	23	水	県初任研 地区駅伝	1 6 弁
24		5	水	深検査二次 県初任研 社行式	1 6 〇	日		2	月	24	木	県初任研	1 5 〇
25	火	1 8 〇	木	県初任研	1 5 〇	日		3	火	25	金	県初任研 地区駅伝(予備日)	1 6 〇
26	水	1 6 〇	金	県初任研	1 5 〇	月	プール開き	1 5 〇	水	26	土		2
27	木	1 6 〇		2	火	期末テスト	1 4	木	27	日	水		1 5 〇
28	金	1 5 〇		3	水	期末テスト	1 5 〇	金	28	月	木	中間テスト ピアノ調律② 文化祭係会議	1 6 〇
29		4	月	職員会議(6月)	1 6 〇	木		1 5 〇	火	29	金	英語検定	1 5 〇
30		3	火		1 6 〇	金	1年生産者と交流会 管内初任研	1 6 〇	水	30	土		2
31			水	芸術鑑賞(2・3年)	1 6 〇	日		5	木	31	日		
1年	16		20		22		14		10		20		
2年	17		20		22		14		10		20		
3年	17		20		22		14		10		20		

授業日数【1年】 203 日

授業日数【2-3年】 204 日

給食 164 日

一関市立大東中学校

日	10月	時給数食	11月	時給数食	12月	時給数食	日	1月	時給数食	2月	時給数食	3月	時給数食	日	
1		3	水	16	金	3年実力テスト 16	1	月 元日	4	木	15	金	修学認定会 15	1	
2	衣替え 文化祭実行委員会③	16	木	16		2	2	火 祝祭休日	5	金	16		2	2	
3	火 一斉研	13		4		3	3	水	5		2		3	3	
4	水 県学訓 役員選挙リハーサル	15		2	月	16	4	木 仕事の日	6		3	月	16	4	
5	木	16	水	3	火	16	5	金 研究所切替会	5	月	16	火	16	5	
6	金 生徒会役員選挙	16	月	3年実力テスト 16	水	16	6	土	2	火	1年工場見学 16	水	16	6	
7		2	火	16	木	校内運動指導委員会 15	7	日	3	水	管内初任研 卒業式実行委員会④ 入学説明会 16	木	県立高校入試 実力テスト 15	7	
8		3	水	16	金	16	8	月 祝祭の日	4	木	分掌部会 15	金	15	8	
9		4	木	音楽発表会 15		2	9	火 職員会議(生徒会 行事検討委員会 分掌部会)	5	金	16		2	9	
10	火 生徒会総会	16	金	進路説明会 16		3	10	水 卒業式 実力テスト 16	16		2		3	10	
11	水	16		2	月	クラスマッチ 16	11	木 学院1期 修紅推薦	15	木	県立高校 卒業式練習日	3	月	15	11
12	木 生習予防検診 JAL→東日本航空	15		3	火	16	12	金	16	月	祝祭休日	5	火	進路検査 15	12
13	金 幼〜大学習協賛会 漢字検定①	15	月	分掌部会 16	水	社行式 16	13	土 高専推薦 分掌部会	2	火	運営委員会 16	水	卒業式 修了式 1	13	
14		2	火	運営委員会 生徒総会リハ	木	15	14		3	水	15		5	14	
15		3	水	生徒総会・引継式 16	金	16	15	月 漢字検定②(〜17日)	16	木	期末テスト 職員会議(3月) 14		5	15	
16	月 分掌部会	16	木	食に関する指導(3年)	5	2	16	火 中1英語調査 運営委員会	16	金	中体連評議員会 中体連理事会⑤ 期末テスト 15		2	16	
17	火 運営委員会	16	金	県立新人大会バレー ボール前日準備	16	3	17	水 学院一般	16	土	修学説明会 2		3	17	
18	水	16	土	県新人大会(3日)	2	月	期末面談 14	18	木 職員会議(2月)	15		3	月	14	18
19	木 職員会議(11月)	15	日		3	火	期末面談 14	19	金 修紅一般 英語検定 16	月	「学校へ行く」 期間 16	火	小中学校卒業式 5	19	
20	金	16	月	16	水	期末面談 14	20	土 修紅予選1及び2	2	火	16		4	20	
21		2	火	15	木	期末面談 14	21	日	3	水	生徒総会 16		5	21	
22		3	水	期末テスト 職員会議(12・1月)	14	金	卒業式 分掌部会 14	22	月	16	木	新年度債権会議 15		6	22
23	月 音響機器設置	15	土	新年の日の	4	土	23	火	16	日	大東祭日 4		2	23	
24	火	15	金	期末テスト 15	日	3	24	水 卒業式実行委員会① 県立高校推薦選抜	16	土	2		3	24	
25	水 県初任研	15	土	2	月	3	25	木	15	日	3	月	14	25	
26	木 県初任研 全日本中学校長会 生徒会リハーサル	15	日	3	月	5	26	金 漢字検定②	15	月	16		5	26	
27	金 県初任研 全日本中学校長会 文化祭準備・学年リハ 校部リハーサル	15	月	16		5	27	土	2	火	1・2年訪学学習 16		6	27	
28	土 文化祭	15	火	16		5	28	日	3	水	16		5	28	
29		3	水	16		5	29	月	16	木	16		5	29	
30		5	木	15		2	30	火	16				2	30	
31	火	16				3	31	水	16				3	31	
		21		20		16			16		19		9	203	
		21		20		16			16		19		9	204	
		21		20		16			16		19		9	204	